



しおがま 社協だより

No.92



いたずらしちゃうぞ！

保育園の子どもたちがおばけに変身♪かわいくポーズを決めてくれました。その後はおじいちゃんおばあちゃんに会いに行きました。声を揃えてトリックオアトリート！もうみんなメロメロです。今年もたくさんのお菓子をもらって満足げな子どもたちでした。



祝 敬老の日 第17回 塩竈社協「高齢者まつり！」



9月18日（敬老の日）、塩釜ガス体育館を会場に「高齢者まつり！」を4年ぶりに開催いたしました。

市内75歳以上の方々をご招待し、728名のご来場がありました。はじめに鹽竈神楽、郷土民謡が披露され、後半には「やなせなな」さんにご出演いただき、「悲しみの先に開かれる世界」と題しまして、ご自身の僧侶としてのご経験や、東日本大震災時にご体験されたお話などをいただきました。

また、今回は地元企業様とタイアップし、出店コーナーとキッチンカーを設けてお買い物を楽しんでいただきました。それぞれの企業が一堂に会しての販売となったため、ここでしか見ることのできない夢のコラボレーションとなりました。

ご協力・ご協賛いただいた皆様には厚く御礼を申し上げます。

僧侶兼シンガーソングライター
「やなせなな」さんご出演！

「家族介護者リフレッシュ交流会」

令和5年10月27日、第8回目である今回はバスで松島町の円通院の散策と、ホテル大松荘の日帰り温泉に行ってきました！

塩竈市の出前講座で「こころの健康づくり」と題して、日々の介護でストレスを溜めにくくする方法や、発散方法、参加者お一人お一人に寄り添ったお話をさせていただき、参加者の皆様は「少し心が軽くなった気がする」とリフレッシュいただけたようでした。

今年度中に2回目の開催を予定しておりますので、皆様の参加をぜひお待ちしております！



「傾聴ボランティア養成講座」

令和5年10月7日、14日の2日間にわたり開催、13名の方にご参加いただき、「傾聴」についての心構えや知識など学んでいただきました。

“聞く”ではなく“聴く”という漢字や言葉には、心に寄り添って聴くという意味があります。

参加者の皆様は「聴き手」と「話し手」に役割を分けて演じ、傾聴の基本的なスキルを習得しながら、お互いに日々の悩みなどもお話されており、談笑を交えながらリラックスした様子で受講していただきました。

来年度も開催を予定しておりますので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。





保育園だより

～さかえ保育園・北浜保育園～

保育園では秋の大型行事、運動会が開かれました。保護者も参加し家族そろって大盛り上がりの行事となりました。加えて、春に植えた野菜を収穫し、子どもたちが調理体験をしたり野菜を使った感触遊びや食育にも力を入れていました。各施設との交流としてハロウィン訪問もあり季節ならではのイベントを存分に楽しみました。

さかえ保育園

運動会



野菜の収穫・クッキング



5歳児の子どもたちは収穫した野菜を使ってみそ汁作りに挑戦しました。ドキドキしながらも包丁で上手に野菜を切りとって美味しく作ることが出来ました！

北浜保育園

食育活動

各クラス野菜を育てて、収穫し、クッキングをして食べてみる体験までしています♪



ハロウィン散歩

衣装も手作り♪
仮装をして高齢者施設を訪問しました♪

感触遊び

各クラス、年齢に合わせて寒天、春雨、パン粉、パスタなどを使用して感触遊びを楽しんでいます♪



塩釜市のホームページにさかえ保育園と北浜保育園の施設紹介の動画が載っているのではありませんか？



地域で共に生きる社会！ボランティア活動を始めませんか？

ボランティアは自発的な意思に基づき、人や社会のために貢献する活動です。それぞれが「得意なこと」「できること」を活かしながら活動していただきます。

【ボランティア活動の例】

- ・ 福祉施設でのお手伝いやお話し相手、見守り活動など、高齢者、障がい者を対象とした活動。
- ・ 地域の清掃活動など、自然や環境のための活動。
- ・ 小学校や児童施設で本の読み聞かせなどを行う、子どもを対象とした活動。
- ・ 災害で被災した方を支援する、災害ボランティアセンターでの活動。

などなど、その他にもたくさんのボランティア活動があります。



「ふだんのくらしのしあわせ」＝「ふ・く・し」のため、あなたも気軽にボランティアを始めてみませんか？
学生さんも大歓迎です！自分に何かできるかな？そう感じたら、まずは塩竈市社会福祉協会へご連絡ください！

育もう！ボランティア精神！ 令和5年度 夏休みボランティア体験講座！

令和5年7月27、28日に夏休みボランティア体験講座を開催いたしました。この講座は、福祉教育の一環として、中高生にボランティアについて学びの場の提供と、福祉施設でのボランティア体験と交流を通して、地域社会への関心を高め、社会参加の意義を学び、ボランティア活動のきっかけづくりを目的に実施しています。



コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となりましたが、塩釜高校の生徒の皆さん7名に参加していただき、1日目は手話や点字、車いすや白杖の使用方法や、ボランティア精神についてなどを学びました。2日目はボランティア実践として、塩竈市社会福祉協会が運営する老人福祉センターでのお手伝いと、塩釜市民生委員児童委員協議会と協力して杉の入小学校のなかよしクラブのお手伝いを行いました。

学生の皆さんにとってはどれも初めてのことばかりでしたが、ご高齢の方々や、子どもたちとの触れ合いを通して、ボランティアについて学んでいただきました。

経営改善の目標と具体的取り組み

塩竈市社会福祉協会では運営している地域福祉、介護、保育事業等は、社会情勢の変化に伴い、改善と創意工夫が求められています。塩竈市民が必要な制度、政策を皆様とともに考え制度化を行ってまいります。そのためには、町内会、自治会、市民団体、市福祉行政との連携が必要です。

今後ともより良い福祉事業の向上発展のために、市民の皆様のご協力と理解を基に、職場と経営システムの効率化等、持続できる社協に向けた経営改善に取り組んでまいります。

- ・ 情報紙「しおがま社協のとびら」を発行いたします。

PR活動の一環として、市内の店舗・公共施設のご協力をいただき、紙面の設置を行い、日々の社協活動の様子を見ていただきます。

となりの家

みんなで作った季節の壁画が展示されました。
～エस्पにでかけ、壁画を見て来ました～

10月17日(火)～10月22日(日)に、となりの家をご利用されている皆さんが制作した壁画を、ふれあいエस्प塩竈に展示させて頂きました。
住み慣れた地域と関わる機会を持つことができ、みんなでエस्पにでかけて、手を加えた所を思い出しながらゆっくり見て来ました。



沢山の方に見て頂き、一つ一つの作品への思いや達成感を感じ、嬉しそうな姿が見られました。また、来てくださった方々のコメントはとても温かく、何より利用されている皆さんへの理解や応援を感じさせて下さるものでした。
この機会をまた力にし、となりの家は利用者様と一緒に日々を大事に関わりを深めて参ります。ご鑑賞ありがとうございました。

北浜デイサービスセンター

～お買い物～

2ヶ月に一度、希望される方とヨークベニマルに買い物に行っています。
野菜や果物、さんまなどを見てまわり、買い物を楽しんで頂いています。



～貼絵カレンダー～

毎月、季節に合わせたカレンダーを作っています。見本を参考にしたり、自分でレイアウトを考えながら、オリジナルのカレンダーを仕上げていきます。



福祉のしごと、一緒にしませんか？



塩竈市社会福祉協議会では、
スタッフを募集しています！
詳しくはホームページをご覧ください。



TEL 022-364-1213

E-mail s-syakyo@c-marinet.ne.jp までお問い合わせください。



つながり ささえあう みんなの地域づくり

歳末たすけあい運動へご協力をお願い

12月1日より1ヵ月間、歳末たすけあい運動が全国一斉に実施されます。

この運動は、10月1日からご協力いただいております「赤い羽根募金運動」と同じく「共同募金運動」の一環として実施されるものであり、市区町村の区域ごとに行われます。

この運動に皆様から寄せられた募金は、全額塩竈市の支援を必要としている生活困窮世帯・高齢者や障がい者、また地域福祉活動・事業に配分されます。みんなで一緒に地域全体を支えあい、新しい年を明るく迎えることができますよう、ご協力をお願いいたします。

令和4年度歳末たすけあい募金総額

3,187,906円

昨年はこのように活用させていただきました

- ・要援護世帯への在宅お見舞金配布 [173世帯]
- ・福祉団体援護金 [5団体]
- ・独居高齢者安否確認事業
(ヤクルト・お惣菜配布事業)
- ・家族介護者支援事業
- ・子どもの居場所づくり(子ども食堂)支援事業
- ・生活困窮世帯自立支援事業
- ・保育教材支援事業



～じぶんの町を良くするしくみ～

令和5年度赤い羽根共同募金街頭募金活動を実施いたしました。

令和5年10月2日、23日にイオンタウン塩釜様、JR本塩釜駅様・JR塩釜駅様の計3箇所街頭募金活動を実施しました。今年度は塩釜市ボランティア連絡協議会の皆様と、塩竈市地域婦人団体連絡協議会の皆様にご協力をいただきました。

共同募金は地域の高齢者や障がいのある方、子どもたちへの福祉の活動や、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体の活動を支えるための募金です。

皆さまからいただいた募金の一部は、災害時の災害ボランティアセンターの運営に使われるなど、被災地の支援にも役立てられます。



第25回 福祉の心 作文コンクール

今年度も福祉の心作文コンクールを行い、市内小中学校の皆さんから、合計で25作品の応募がありました。どれも大変素晴らしい作品で、それぞれの福祉について、想いを寄せていただきました。

【小学生の部】 最優秀賞「支えよう「老老介護」」
塩竈市立杉の入小学校6年 朝倉 美桜さん

【中学生の部】 最優秀賞「みんなが生活する社会に必要なこと」
塩竈市立第一中学校2年 吉田 ゆいさん

